

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成31年2月7日(2019.2.7)

【公開番号】特開2018-167086(P2018-167086A)

【公開日】平成30年11月1日(2018.11.1)

【年通号数】公開・登録公報2018-042

【出願番号】特願2018-149140(P2018-149140)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年12月21日(2018.12.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技を行うことが可能な遊技機であって、

複数種類の演出のうちから実行する演出が選択可能な演出選択画面を表示可能な演出選択画面表示手段と、

前記演出選択画面に表示する画像を切り替えるための操作を受け付ける受付手段とを備え、

前記演出選択画面は、

選択可能な演出を特定可能な選択可能画像と、未だ選択不可能な演出を特定可能な選択不可能画像とを併せて表示可能であり、

選択対象の演出に対応する前記選択可能画像が表示される選択領域を含み、

前記演出選択画面表示手段は、

前記受付手段が操作を受け付けたことに基づいて、前記選択可能画像および前記選択不可能画像を所定の順番で前記演出選択画面にスクロール表示し、

前記選択可能画像の次に複数の前記選択不可能画像が並んでおり、かつ、前記選択領域に当該選択可能画像が表示されている場合に、前記受付手段が操作を受け付けたことに基づいて、複数の前記選択不可能画像の各々を当該選択領域に一旦表示した後、前記受付手段への操作に関わらず、当該複数の前記選択不可能画像の次の順番に並んでいる前記選択可能画像を当該選択領域に表示する、遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

しかし、特許文献1の遊技機においては、遊技者の操作による演出の選択について考慮されておらず、演出の選択において遊技興趣が低下するおそれがある。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、上記実情に鑑みてなされたものであり、演出の選択において遊技興趣の低下を抑えることができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

(A) 遊技を行うことが可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機1など）であって、複数種類の演出（図42の複数種類の楽曲の再生演出等）のうちから実行する演出が選択可能な演出選択画面（図42の楽曲選択画面等）を表示可能な演出選択画面表示手段（画像表示装置5等）と、

前記演出選択画面に表示する画像を切り替えるための操作を受け付ける受付手段とを備え、

前記演出選択画面は、

選択可能な演出（図42の第1楽曲～第3楽曲等）を特定可能な選択可能画像（図42の選択可能楽曲画像96等）と、未だ選択不可能な演出（図42の第4楽曲～第6楽曲等）を特定可能な選択不可能画像（図42の選択不可能楽曲画像97等）とを併せて表示可能であり（図42（A）等）、

選択対象の演出に対応する前記選択可能画像が表示される選択領域を含み、

前記演出選択画面表示手段は、

前記受付手段が操作を受け付けたことに基づいて、前記選択可能画像および前記選択不可能画像を所定の順番で前記演出選択画面にスクロール表示し、

前記選択可能画像の次に複数の前記選択不可能画像が並んでおり、かつ、前記選択領域に当該選択可能画像が表示されている場合に、前記受付手段が操作を受け付けたことに基づいて、複数の前記選択不可能画像の各々を当該選択領域に一旦表示した後、前記受付手段への操作に関わらず、当該複数の前記選択不可能画像の次の順番に並んでいる前記選択可能画像を当該選択領域に表示する。

このような構成によれば、演出の選択において遊技興趣の低下を抑えることができる。

(1) 可変表示を行い表示結果を導出表示することが可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機1など）であって、

少なくとも可変表示の実行中に、遊技者による調整動作（調整操作）に応じて演出効果を調整可能な調整手段（例えばステップS706、S707の処理を実行する演出制御用CPU120）と、

前記調整手段による調整に対応する調整画像（例えば図35（B）～（D）に示す調整結果画像R）を所定期間（例えば所定期間T1）表示する調整画像表示手段（例えばステップS708、S703、S704の処理を実行する演出制御用CPU120）と、

複数種類の演出（図42の複数種類の楽曲の再生演出等）のうちから実行する演出が選択可能な演出選択画面（図42の楽曲選択画面等）を表示可能な演出選択画面表示手段（画像表示装置5等）と、

前記演出選択画面に表示する画像を切り替えるための操作を受け付ける受付手段とを備え、

前記調整画像表示手段は、前記所定期間内に可変表示結果が導出表示される場合に、該所定期間のうち、可変表示結果が導出表示される期間（例えば導出表示期間T2）で前記調整画像を視認不可（例えば演出制御用CPU120がステップS710～S712の処理を実行することなど）又は視認困難（例えば調整画像を半透明表示としたり、点滅表示とすることなど）とし、

前記演出選択画面は、

選択可能な演出(図42の第1楽曲～第3楽曲等)を特定可能な選択可能画像(図42の選択可能楽曲画像96等)と、未だ選択不可能な演出(図42の第4楽曲～第6楽曲等)を特定可能な選択不可能画像(図42の選択不可能楽曲画像97等)とを併せて表示可能であり(図42(A)等)、

選択対象の演出に対応する前記選択可能画像が表示される選択領域を含み、

前記演出選択画面表示手段は、

前記受付手段が操作を受け付けたことに基づいて、前記選択可能画像および前記選択不可能画像を所定の順番で前記演出選択画面にスクロール表示し、

前記選択可能画像の次に複数の前記選択不可能画像が並んでおり、かつ、前記選択領域に当該選択可能画像が表示されている場合に、前記受付手段が操作を受け付けたことに基づいて、複数の前記選択不可能画像の各々を当該選択領域に一旦表示した後、前記受付手段への操作に関わらず、当該複数の前記選択不可能画像の次の順番に並んでいる前記選択可能画像を当該選択領域に表示する。